



お知らせ

令和6年10月3日

課名	産業労働部観光課 〔「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 実行委員会事務局〕
担当・ 連絡先	山崎、河野（作品制作担当） 直通 080-1895-4575 森岡（広報担当） 内線 5285 直通 086-226-7843

サンドラ・シント氏の作品のためのワークショップを開催します

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の参加アーティストであるサンドラ・シント氏の作品のために奈義町の子どもを対象としたワークショップを開催しますので、お知らせします。

なお、当日、サンドラ・シント氏は参加しません。

本件に関しては、県政記者クラブ、津山市政記者クラブ及び新見記者クラブに同時にお知らせ
しています。

記

1 概要

奈義町の子どもたちを対象に、奈義町立図書館にあるサンドラ・シント氏の作品を観て、墨や絵の具を使って自由に絵を描いてもらうワークショップを開催します。

完成した絵は、今後、サンドラ・シント氏が同図書館に大きな壁画を制作する際に活用される予定です。

2 日時

【第1回】令和6年10月6日（日） 10:00～12:00

【第2回】同日 14:00～16:00

3 会場

奈義町文化センター（勝田郡奈義町豊沢327-1）

4 参加者

奈義町の子ども（幼児～小学校6年生）各回10名程度

【参考】

サンドラ・シント

1968 年生まれ。現在はサンパウロ在住。

ドローイングを出発点に、建築や彫刻、絵画、インスタレーションなどを作品に取り入れることで言語の限界を探る試みを続けている。銀座メゾンエルメスフォーラムやイタウ・クルトゥラウ（2020 年）、ダラス美術館（2019 年）、シンシナティ現代美術センター（2017 年）などで個展を開催。イニョチン、MAC/USP（サンパウロ大学現代美術館）、サンパウロ州立美術館ピナコテカ、MASP（サンパウロ美術館）、MAM（サンパウロ近代美術館）、MAR（リオ美術館）、ワシントン・ナショナル・ギャラリー、ニューヨーク近代美術館、オルブライト＝ノックス美術館、ガリシア現代美術センター、ダラス美術館などに作品が収蔵されている。8 月末には、7 年間に及ぶプロジェクトの成果として、これまでで最大規模となる作品（音響的効果を備えた 2 点のモニュメンタルなタペストリー）がブラジル・サンパウロの文化芸術劇場（Teatro Cultura Artística）の大コンサートホールでお披露目された。



SandraCinto_©FilipeBerndt